



NetApp™

報道関係者各位  
ネットアップ合同会社

ニュースリリース  
2018年11月9日

## ネットアップ、DevOps 関連ソリューションでイノベーションと収益拡大を推進

※本リリースは米国時間10月24日に NetApp 本社が発表した英文リリースの抄訳です。

データ主導の DevOps により、新たなビジネス チャンスを素早く簡単に創出

- 効率性の高いセルフサービス リソースにより、インフラの利用率と柔軟性が向上
- 先進のデータ サービスにより開発サイクルを高速化。管理に要する時間を短縮し、サービスの開発に費やす時間の増加を実現
- 運用部門がオペレーションの可視性を維持しながら、インフラ要件を開発者がセルフで対応することも可能に

**ラスベガス — 2018年10月24日** — ハイブリッド クラウドのデータ管理に関するオーソリテティ、NetApp (NASDAQ : NTAP) は本日、Trident のアップデートと、コンテナの永続的ストレージに関する課題を解決する Trident の自動プロビジョニング機能、NetApp HCI を基盤とする Red Hat OpenShift Container Platform の新しい検証済みアーキテクチャを発表し、併せて NetApp® Cloud Volumes for Google Cloud Platform および NetApp Cloud Volumes for AWS の DevOps の柔軟性向上を発表しました。

ネットアップは先頃、各種クラウドでアプリケーション オークストレーション機能を直接実現する最先端の Kubernetes サービス プラットフォーム、StackPointCloud を買収いたしました。本日の発表はこれを受けたものです。買収後ネットアップは、Kubernetes を管理するためのユニバーサルコントロール プレーンとして [NetApp Kubernetes Service](#) の提供を開始し、Kubernetes クラスターのクラウドへのデプロイを大幅に容易にしました。また最近では、NetApp HCI および SolidFire®ソリューションとの統合を実現する新しい Element、NetApp AFF および FAS システム向け統合ソリューションを提供する ONTAP、NetApp E シリーズ システム向け統合ソリューションを提供する

SANtricity 向けの Ansible モジュールもそれぞれ発表しています。この新しい機能により、お客様は使い慣れたツールを使用して、開発、テスト、本番運用のための一貫したインフラを定義し、デプロイすることができます。

企業が新たな収益源を追求できるようになるには、社内の開発チームが重要な役割を果たします。ところが、長きにわたって開発チームと運用チームの文化の違いがこれまで社内のコラボレーションを阻害し、開発サイクルを遅らせてきました。ネットアップは、両者が互いに連携できるようなデータサービスを構築し、顧客が DevOps のテクニックとメソッドを活用してこのパラダイムを変革できるツールの提供を目指しています。

ネットアップのクラウド インフラ担当シニア バイス プレジデント兼ゼネラル マネージャー、Brad Anderson は次のように述べています。「多くの場合、データからビジネス バリューを引き出すには、開発者が DevOps などのメソッドを通じて迅速に革新を推し進められることが必要です。しかし、真の DevOps 文化に求められる柔軟な連携アプローチに対応するインフラが企業にない、という話をよく耳にします。ネットアップは、開発チームと運用チームの連携が強化できるように構築されたデータ製品とサービスを開発し、開発者がビジネスの価値と戦略的優位性を創出、推進し続けるために必要な独自のテクノロジーを提供します」

### **新たなサービスを提供し、DevOps を強化するクラウドを構築**

Trident は、Docker、Kubernetes、Red Hat OpenShift Container Platform に対応するネットアップの自動ストレージ プロビジョニング ソリューションです。この Trident に、NetApp Cloud Volumes ONTAP のサポートと、NetApp Snapshot コピーを使用したバックアップとリストアのサポートが加わり、マルチクラウドへのサポートが提供されるようになりました。最新版は [thePub からダウンロード](#) できます。

Trident には次のような特長があります。

- NetApp HCI、ONTAP、SolidFire、NetApp Cloud Volumes ONTAP など、ネットアップのポートフォリオをフルにサポート
- 現在利用可能なコンテナ プラットフォームの永続性に関して、最も幅広く徹底した製品サポートを提供し、コンテナのネイティブ言語によるセルフサービスのストレージ管理とデータ管理が可能
- 永続的コンテナ ストレージの簡易化と自動化を実現し、プロビジョニングに関するチケット

トのマニュアルで発行するといった作業を排除することで、効率を向上

- 開発、テスト、デプロイのプロセスのアジャイル性を高めることにより、テスト開発からリリースまでの工程から手作業を削減し、コードの品質を高め、顧客満足度を向上
- 拡張性に優れたコンテナ管理ソリューションにより、データの整合性とセキュリティが向上
- オープンソース プロジェクトの一員として開発者参加、常に新しい機能を盛り込み、継続的な拡張、改善を実現

NetApp HCI Verified Architecture 上に Red Hat OpenShift Container Platform を導入することで、DevOps 対応における次のようなプライベート クラウド内のコンテナ管理が可能になります。

- アプリケーションのビルド、デプロイ、マネジメントに要する時間を短縮し、アプリケーションをより早く提供
- 「とにかく動く」環境を整えることが可能なセルフサービス機能を DevOps に持たせることで、コンテナとよりシンプルなハイブリッド クラウド インフラを使用して、アプリケーションのビルド、デプロイ、スケールを容易に実現
- 運用の簡素化と自動化によってクラウド アプリケーション プラットフォームをより迅速かつ容易に提供するとともに、カスタム プラットフォームの設計に伴う時間や複雑さを軽減

### **DevOps 向けクラウドでイノベーションを促進**

NetApp Cloud Volumes サービスは、クラウド アプリケーションで卓越したパフォーマンスと高度なデータ管理を実現するクラウドネイティブなファイル ストレージを提供します。

NetApp Cloud Volumes for Google Cloud Platform は、Google および Google Cloud UI（プロビジョニングと管理用）でサポートされ、真のネイティブ エクスペリエンスを備えた NoOps サービスです。Standard、Premium、Extreme の3つのパフォーマンス レベルに対応しています。NFS と SMB のプロトコル サービスを両方サポートし、Google Cloud Platform のユーザがワークロードに求めるものを幅広くサポートします。

NetApp Cloud Volumes for Google Cloud Platform には次のような特長があります。

- 分析業務をクラウドサービスに移行することで、データ主導の意思決定がより迅速に実現
- クラウド内の高性能なファイルサービスによってデータベースが保護されることで、アプリケーションやワークロード全体で高速なテストと反復が可能になり、また問題発生時に元のデータベースへの素早い復元が可能
- 高速ファイル コピーにより、開発者は何百もの環境のクローンを作成してテストや QA に要する時間を短縮でき、短期間での成果拡大が実現
- 利用可能地域が US-Central1 および US-East4 リージョンにも拡大したことに加えて、Cloud Volumes for Google Cloud Platform で本番環境レベルのデータ受け入れが可能に

NetApp Cloud Volumes for AWS は、セキュリティに優れた実証済みの NFS および SMB データ管理サービスを AWS 内で提供します。Cloud Volumes for AWS は、現在ネットアップおよびパートナー各社から提供されており、近日中に AWS Marketplace で公開され、国際市場での展開地域が拡大されます。

NetApp Cloud Volumes for AWS には次のような特長があります。

- REST API のサポートと Cloud Backup サービスのプレビューによる、DevOps の柔軟性向上
- エンタープライズクラスの高度なサービスをクラウド アプリケーションに展開し、柔軟性を犠牲にすることなく、ワークロードをクラウド内で超高速かつ予測性を持って実行
- 複数のデータソースを持ち、複数のアプリケーションでデータを同時に共有できるデータレイクをサポート
- ファイルベース アプリケーションをクラウド向けに再構築する必要なし。新たな開発プロセスを経ずにそのままクラウド環境へ移行可能
- シドニー、東京、ダブリン、フランクフルト、ロンドンなど、APAC および EMEA リージョンで利用可能地域が拡大

#### 関連資料

- 本日の発表の詳細については、[ネットアップの公式ブログ](#)をご覧ください。
- ネットアップ クラウド データ サービス ソリューションの詳細については、[こちら](#)をご覧ください。

- ネットアップ クラウド インフラ ソリューションの詳細については、[こちら](#)をご覧ください。
- ネットアップ ストレージ システムとソフトウェア ソリューションの詳細については、[こちら](#)をご覧ください。
- NetApp Insight 2018 の詳細については、<https://insight.netapp.com/>をご覧ください。

## ネットアップについて

ネットアップは、ハイブリッド クラウドのデータに関するオーソリティです。クラウド環境からオンプレミス環境にわたるアプリケーションとデータの管理を簡易化し、デジタル変革を加速する包括的なハイブリッド クラウド データ サービスを提供しています。グローバル企業がデータのポテンシャルを最大限に引き出し、お客様とのコンタクトの強化、イノベーションの促進、業務の最適化を図れるよう、パートナー様とともに取り組んでいます。詳細については、[www.netapp.com/jp](http://www.netapp.com/jp) をご覧ください。 #DataDriven

ネットアップ、ネットアップのロゴ、<http://www.netapp.com/jp/legal/netapptmlist.aspx> に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。